

全自動タイプ & 自動タイプ

ガスふろ給湯器取扱説明書

保証書付



	品 名	型式名	号 数
全自動	GX-S2000ZWS-1	GX-S2000ZWS	20号
	GX-S1600ZWS-1	GX-S1600ZWS	16号
自動	GX-S2000AWS-1	GX-S2000AWS	20号
	GX-S1600AWS-1	GX-S1600AWS	16号



この製品は、潜熱回収型(高効率)のガス代節約型ガスふろ給湯器です。

このたびはガスふろ給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ、大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。



写真はGX-S2000ZWS

この取扱説明書では、FC-630・MC-630・SC-630タイプのリモコンについて説明しています。
記載以外のリモコンをご使用の場合は、リモコンに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

もくじ

ページ

製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	2
この取扱説明書の表示について	2
絵表示について	2
機器本体の表示について	2
必ずお守りください	3
各部の名称とはたらき	8
ご利用前の準備	11
機器の準備	11
現在時刻を合わせる	12

お湯を使うには	13
お湯を使用する	13
優先切替について	14
自動でおふろを沸かすには	15
ふろ自動運転をする	15
沸かし直しをするには	16
ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには	17
ふろ温度の設定	17
保温時間の設定	17
ふろ水位の設定	18
音量を変更するには	19
音量の設定	19
おふろのお湯を熱くするには	20
追いき運転をする	20
おふろのお湯をぬるくするには	21
ぬるく運転をする	21
おふろのお湯を増やしたいときには	22
たし湯運転をする	22
おふろが沸く時刻を予約するには	23
予約運転をする	23
省電力機能について	25
省電力モードの解除	25
省電力モードの設定	25
知っている便利な機能	26
ポンプ運転をする	26

冬期の凍結予防をするには	27
凍結予防装置による方法	27
給湯栓の水を流す方法	27
機器の水を抜く方法	28
再使用するとき	29
凍結してしまったとき	30
点検のポイント・お手入れのしかた	31
点検のポイント(月1回程度)	31
お手入れのしかた(月1回程度)	31
定期点検のおすすめ(有料)	31
循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)	32
給水口フィルターの掃除	32
点検・お手入れ後の確認	32
故障かな?と思ったら	33
こんなときは故障ではありません	34
アラーム表示について	35
アフターサービスについて	36
仕様一覧	37
保証書	裏表紙

ご利用の前に

使い方

長くお使いいただくために

■潜熱回収型(高効率)のガスふろ給湯器です

従来捨てていた一次熱交換器の約200℃の排気ガスを二次熱交換器で回収、水を予備加熱します。熱効率が約95%と高いので、ガスをより効果的に使え、環境面でもCO₂削減に貢献します。

ドレン水が出ます

二次熱交換器で回収された排気ガス中の水蒸気が熱を奪われ、凝縮(水蒸気が水に戻る)して凝縮水(ドレン水)が生成されます。このドレン水は排気ガス中のNO_x、SO_xが溶け込むため酸性水になりますが、機器内の中和器で中和して排出します。

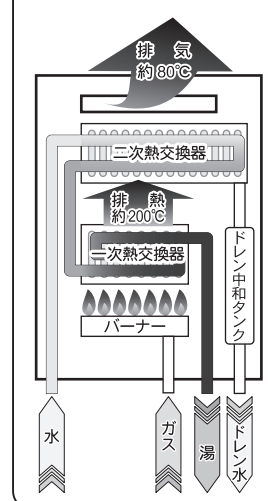
ドレン水は使用中、常時排水されます

この機器のドレン水は機器の使用中に発生したドレン水を常時排出します。ドレン水はドレン排出配管を通り、機器外へ排出されます。

白い湯気が出やすくなります

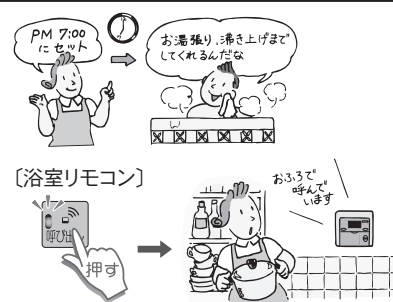
二次熱交換器で回収された排気ガスは熱を奪われ、温度が低く水分を多く含んでいます。この排気ガスが外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。

[高効率の仕組み]



便利です!

- お風呂もシャワー・給湯も、これ1台でOK。
- スイッチオン!の簡単操作でお風呂が沸かせます。
(→P.15)
- 予約タイマー付きだから、忙しい方も好きなときにバスタイム。
(→P.23)
- 浴室から台所や他の部屋にいる人を、呼び出すことができます。



快適です!

- お風呂のお湯の温度を自動的に保温します。
また、全自動タイプは水位が下がったら、たし湯もします。
いつも快適なお風呂です。(→P.15)
- ふろ配管をきれいにします。(全自動のみ)
お風呂のお湯を排水したときに、自動的にふろ配管内の残り湯を流しだす機能があります。
以下の条件がそろったときに浴槽のお湯(水)を排水するとふろ配管の残り湯を、きれいなお湯(リモコンの運転が「切」の場合は水)約6リットルで流して浴槽の循環口から排出します。



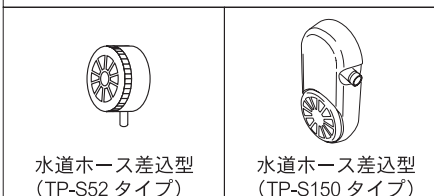
- 条件**
1. ふろ自動運転終了後、浴槽の残り湯が循環口より上にあった場合
 2. 排水中に給湯等を使用していない場合

※ふろ配管内の残り湯を流しだす際には、ポンプの回る音がしますが故障ではありません。

環境にもやさしい!

- リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。
(→P.25)
- 残り湯はポンプ運転で洗濯機へ。水の節約(省資源)になります。
(→P.26)
※浴槽の循環口の種類によって利用できない場合があります。

ポンプ運転時にホースをつなげて利用できます



安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX)

参照ページを示しています。



“XXXX”

リモコンから流れる音声を示しています。

■絵表示について



高温注意



感電注意



一般的な禁止



火気禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止



必ず行う



アースを必ず
接続せよ



電源プラグ
を抜け

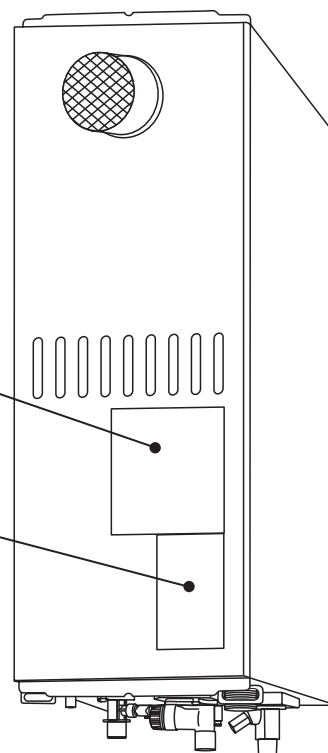
■機器本体の表示について

使用上の注意

●使用上の注意について表示しています。

銘板

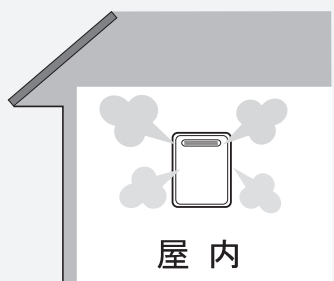
●品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



⚠ 危険

屋内に設置しない(この機器は屋外用です)

- 燃焼ガスが室内に充満したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。



ガス漏れに気づいたときは

- ① すぐに使用をやめて、給湯栓をすべて閉じる。
- ② ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
- ③ お買い上げの販売店または、最寄りのガス事業者に連絡する。



すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・ 火をつけない
 - ・ 電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・ 電源プラグの抜き差しをしない
 - ・ 周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。



⚠ 警告

機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



増改築などで屋内状態にしない

- 設置後、機器や排気口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



このような場合は使用しない

- 増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで排気口を覆うことがあります。そのような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



給排気口の前方に物を置いたり洗濯物でおおわない

- 不完全燃焼や火災のおそれがあります。



アース必要

- この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は、思わぬ事故や故障・火災の原因となります。



ガス接続について

- この機器のガス配管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しの際には必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。



機器本体やガスの接続部などに乗らない

- けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



お子様には十分な注意を

- 浴槽の湯(水)に潜ったり浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。



機器本体の高温部に触れない

- 使用中または使用後しばらくは、排気口付近に手を触れない。やけどのおそれがあります。



電源コードの加工禁止

- 電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。



必ずお守りください

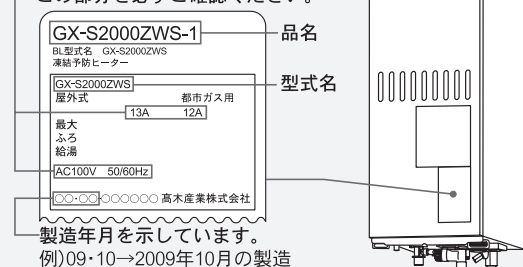
警告

機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

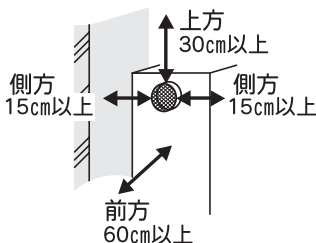
- 転居時の注意は(→P.36)

※図の銘板は都市ガス12A,13Aの場合この部分を必ずご確認ください。



火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



- 機器および排気口の周辺には紙や木材・洗濯物など、燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。

電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ぬれた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。



異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。

- ①給湯栓を閉じる。
- ②運転スイッチを「切」にする。
- ③ガス栓・給水元栓を閉じる。



- 給湯栓を開けても点火しない場合や使用中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。

- ①ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②「故障かな?と思ったら」(→P.33～35)に従って処置をする。

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または弊社窓口へ連絡する。

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。

- ・お湯を再使用するとき
- ・給水圧が下がったとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・機器が故障したとき



- 入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。
- 給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。
- 給湯・シャワー使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、運転スイッチを「切」にしない。
- お風呂沸かし(沸かし直し)や追いだき時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り

- ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

必ずお守りください

⚠ 注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、おふろ沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



空だき防止

- 追いだきスイッチを押すときは、必ず浴槽の循環口より上に湯(水)が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。



電源プラグを抜くときの注意

- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。



長期間使用しない場合

- 長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じる。



ソーラー機器について

- ソーラー機器とは絶対に接続しない。夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。



水漏れに気づいたときは

- 速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などを濡らして生じる損害は、お客様の責任となります。



ドレン排水口から排出される水について

- ドレン排出配管から排出される水を飲料用・飼育用などに使用したり、触ったりしない。ドレン水に触ってしまった場合は、念のため水道水で洗い流してください。



配管カバー(または据置台)についての注意

- 配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.32)



お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。台所リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
- リモコンはお子様がいらずらないよう注意してください。

通水使用の禁止

- 運転スイッチを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くします。(冬期の凍結予防を除く)

断水のとき

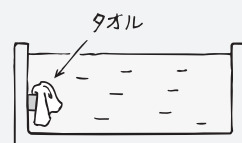
- 給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が、給湯配管内にとどまることがあります。

飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲まないで雑用水としてお使いください。

入浴時の注意

- 循環口を外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良によりおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。



必ずお守りください

お願い

電源プラグを抜かない

- お手入れや水抜き(凍結予防・長期不在時)を行うとき、または突発的な自然災害(雷等)以外は、電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたら速やかに使用を中止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電安全装置が作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」(→P.27)に従って処置をしてください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結したときは「凍結してしまったとき」(→P.30)に従って処置をしてください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。
- 停電または電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの現在時刻の設定を行い、表示を確認してからご使用ください。
- 自動でおふろを沸かししているときに停電になると、ふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。通電後、「沸かし直しをするには」(→P.16)の操作を行ってください。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示や燃焼ランプで確認してください。

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P.31)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターが詰まると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消火することがあります。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等で拭き取ってください。
- ドレン排出配管の先からスムーズに水が排水されるか点検してください。ゴミ等によって閉そくされている場合は掃除を行ってください。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確認し、機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターや追いだき配管内にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

長期間使用しないときは

- 「機器の水を抜く方法」(→P.28)に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

必ずお守りください

お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音・燃焼ファン・ポンプ回転音）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事担当者にご相談ください）
- 足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。（ただし、ドレン排出配管は除きます）

地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

排気ガス

- 増改築時には、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに、当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。
- この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。これは水蒸気であり、故障ではありません。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

ほこり

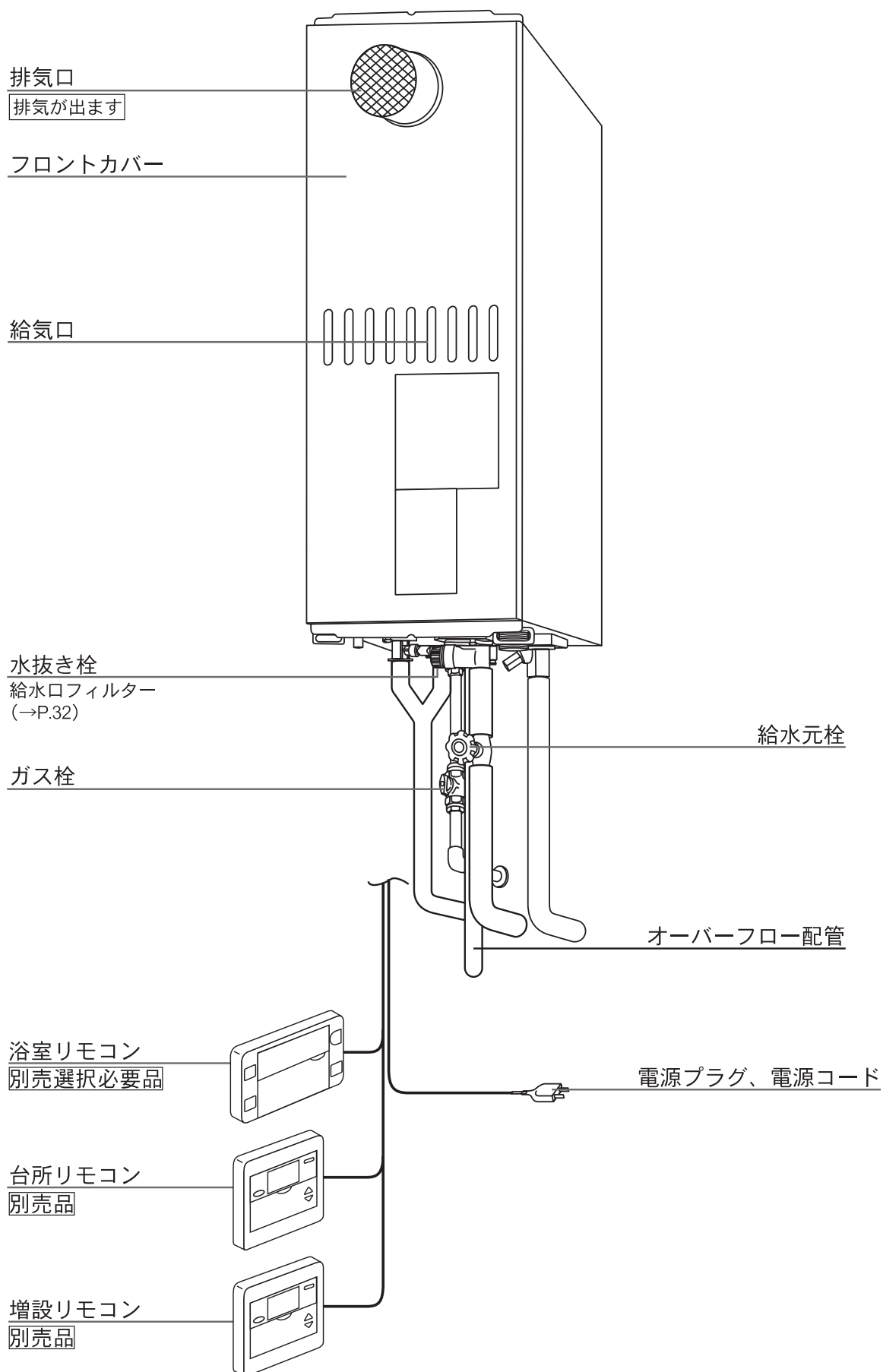
- 砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

各部の名称とはたらき

■機器本体



各部の名称とはたらき

標準タイプ以外のリモコンを取り付けている場合は、リモコンに付属の取扱説明書をごらんください。

■浴室リモコン(浴室に取り付けます) FC-630(別売選択必要品)

給湯やお風呂沸かしなど、すべての操作を浴室リモコンで行います。別売の台所リモコン・増設リモコンを使うと、台所や他の部屋から操作(一部の操作)することもできます。通常はふたを閉じておいてください。

ふろ自動ランプ

ふろ自動運転中、沸き上げ中は赤、保温中は緑で点灯します。

ふろ自動スイッチ

設定した温度・水位で自動的にお風呂を沸かします。(→P.15)

追いだきスイッチ

お風呂がぬるくて熱くしたいときに押します。(→P.20)

追いだきランプ

追いだき中に橙で点灯します。

運転スイッチ

操作するとき最初に「入」にします。(→P.11)

スピーカー

設定の状態や注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

呼び出しスイッチ

台所リモコンや増設リモコンに呼び出しチャイムと呼び出し音声ガイドが流れます。

呼び出しランプ

呼び出し中に緑で点滅します。

浴室リモコンのふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。

ぬるくボタン

熱いお風呂をぬるくするときに押します。(→P.21)
長押しするとポンプ運転を行います。(→P.26)

たし湯ボタン

お風呂のお湯を増やしたいときに押します。(→P.22)

上・下ボタン

ふろ温度・保温時間・ふろ水位・現在時刻・音量・予約時刻の調節をするときに押します。

設定ボタン

保温時間・ふろ水位・現在時刻・音量の設定を切替えるときに押します。
また、ボタンを長押しすると省電力モードの設定・解除が行えます。(→P.25)

優先ボタン

給湯温度調節の優先を、台所リモコンまたは浴室リモコンに切替えるときに押します。(→P.14)

給湯温度ボタン

給湯温度の調節をするときに押します。

ふろ予約ボタン

お風呂沸かしの予約をしたいときに押します。(→P.23)



給湯燃焼表示・ふろ燃焼表示は左右に動いて、燃焼していることをお知らせします。

給湯燃焼表示・ふろ燃焼表示の補足説明



燃焼中は左右に動きます。

各部の名称とはたらき

■浴室リモコンの画面表示 FC-630(別売選択必要品)

浴室リモコンの画面表示には以下のようなものがあり、設定した内容を確認することができます。

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

ふろ水位表示

おふろの設定水位を表示します。

ふろ温度表示

おふろの沸き上げ設定温度を℃で表示します。

保温時間

おふろの設定保温時間を表示します。

ふろ燃焼表示

ふろ燃焼中に表示します。

たし湯表示

たし湯運転中に表示します。

ぬるく表示

ぬるく運転中に表示します。

予約時刻表示

おふろが沸く時刻を表示します。

現在時刻表示

現在時刻を表示します。

給湯温度表示

給湯の設定温度を℃で表示します。

給湯燃焼表示

給湯燃焼中に表示します。

省電力ランプ

省電力機能の動作中に点灯します。

ポンプ表示

ポンプ運転中に表示します。

優先表示

浴室リモコンに優先があるとき表示します。

予約表示

予約スイッチが「入」のとき表示します。

	ぬるく運転時に表示します
	ふろ自動・追いだし・たし湯運転時に表示します

■台所リモコン MC-630(別売品)

台所に設置して使用します。

給湯温度の設定や、ふろ自動運転、ふろ予約運転などの操作ができます。

■増設リモコン SC-630(別売品)

浴室や台所以外の部屋に設置して使用します。

給湯温度の設定や、ふろ自動運転の操作ができますが、ふろ予約運転は操作できません。

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

現在時刻表示

現在時刻を表示します。

予約時刻表示

おふろが沸く時刻を表示します。

スピーカー

設定の状態や注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

予約表示

予約スイッチが「入」のとき表示します。

ふろ自動スイッチ

ふろ自動運転をするときに押します。
(→P.15)

ふろ燃焼ランプ

ふろ燃焼中に点灯します。

省電力表示

省電力機能の動作中に表示します。

給湯温度表示

給湯の設定温度を℃で表示します。

運転スイッチ

操作するとき最初に「入」にします。
(→P.11)

優先表示

台所リモコンに優先があるとき表示します。

給湯温度ボタン

給湯温度の調節をするときに押します。

給湯燃焼ランプ

給湯燃焼中に点灯します。

台所・増設リモコンのふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。

ふろ予約ボタン

おふろ沸かしの予約をしたいときに押します。(→P.23)

※増設リモコンにはありません。

設定ボタン

現在時刻・音量の設定を切替えるときに押します。

上・下ボタン

予約時刻・現在時刻・音量の調節をするときに押します。
※そのまま押すと、給湯温度の調節ができます。

リモコン型式名

ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

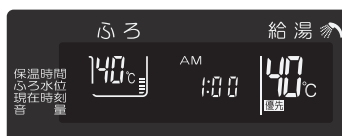
※リモコンのイラストはふたを閉じた状態です。



■機器の準備

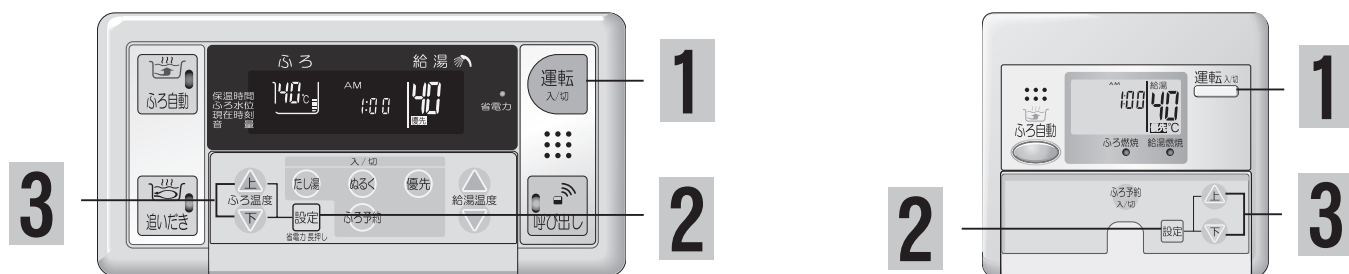
下記の準備ができれば、リモコンのスイッチを入れてみましょう。

操 作	説 明
1 機器や機器周辺の点検・確認を行います	■点検のポイント(→P.31)をご覧ください。
2 給水元栓を全開にします	機器の下部にあります。
3 給湯栓を開けます	水が出ることを確認したら閉じます。
4 ガス栓を全開にします	機器の下部にあります。
5 電源プラグをコンセントに差し込みます	機器の周辺にあります。
6  を押して「入」にします	画面が表示されます。



ご利用前の準備

※リモコンのイラストはふたを開けた状態です。



■現在時刻を合わせる

現在時刻合わせは、浴室・台所・増設のいずれかひとつのリモコンで操作します。ここでは浴室リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 運転スイッチ「入」を確認します		「入」になっていないときは、を押します。
2 リモコンのふたを開け、現在時刻の右に◀が表示するまで設定を押します		※初回の時刻合わせおよび台所リモコンは1回、その後浴室リモコンで時刻を直したい場合には3回、を押してください。 🔊“現在時刻です 上下ボタンで入力してください”
3 またはを押して現在時刻を設定します 現在時刻設定後、しばらく押し操作がないと確定します		🔊“現在時刻、セットされました”

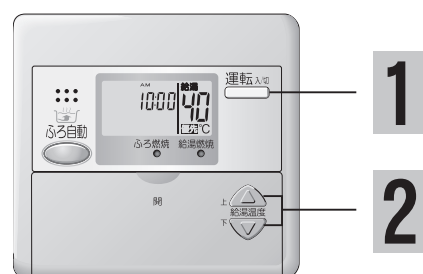


- 出荷時の時刻表示は「AM1:00」になっています。停電などで通電が止まった場合も、再通電時の時刻表示は出荷時の表示に戻りますので、時刻の再設定をしてください。
- 設定時にはAM(午前)・PM(午後)に注意してください。
- 設定時にまたはを押さないでしばらくたつと確定となりますが、音声ガイドは流れません。

お湯を使うには

おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。

※浴室リモコンのイラストはふたを開けた状態です。



■お湯を使用する

給湯温度の調節は、優先が表示されているリモコンで操作できます。
ここでは、台所リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 運転スイッチ「入」を確認します 給湯温度を確認します		「入」になっていないときは、 運転入切 を押します。
2 給湯温度を変更する場合は 優先 の表示を確認して △または▽を押します		温度変更ができない場合は 優先 の点灯を確認します。(→P.14)
3 給湯栓を開けます 		台所・増設リモコンでは、給湯燃焼ランプが点灯します。 浴室リモコンでは、給湯燃焼表示が表示されます。
4 給湯栓を閉じます 		給湯燃焼ランプが消灯します。 ※ただし、他の給湯栓が使用中のときや、ふろ自動運転のお湯張り中は消えません。

警告 ●給湯・シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

ご注意ください

●お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓閉め忘れ確認のためアラーム番号“011”を表示し、燃焼が止まり水になります。その場合は給湯栓を閉じ、**リセット操作**(→P.35)をしてからご使用ください。



●ふろ自動運転のお湯張り中・たし湯運転中の給湯・シャワーはふろ設定温度で出湯されます。

お湯を使うには

□給湯温度の目安

ご使用の目安

(単位:℃)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60
食器洗いなど	シャワー・給湯など						給湯など				高温		

40:工場出荷時

※50℃以上に設定した場合には、音声流れます。

≡“熱い温度にセットされました 注意してください”

!ご注意ください

- 給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。給湯温度は目安としてお考えください。
- 夏期など水温が高い場合、低い温度に設定しても設定温度より高い湯温となることがあります。

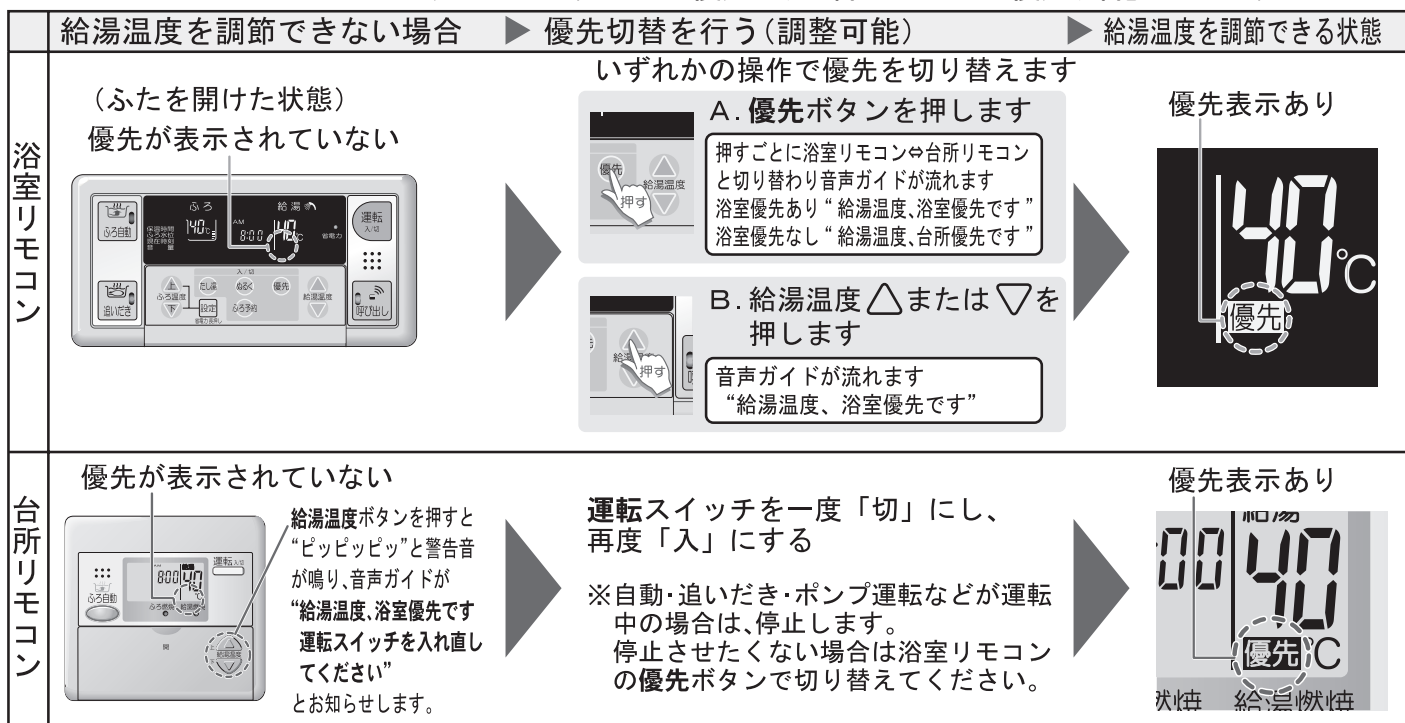
!警告 ●シャワー使用中は使用者以外、給湯温度の変更や優先の切り替え・**運転スイッチ**を「切」にしない。行くとシャワーの温度が急変し、危険です。必ず、浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

お願い ●ふろ自動運転のお湯張り中・たし湯運転中は、台所・増設リモコンの△・▽または浴室リモコンの△・▽を押すと“ピピピピ”と警告音が鳴り、給湯温度の設定はできません。
●55℃以下の温度で給湯・シャワーを使用しているときは、やけど防止のため60℃には設定変更ができません。変更をしたいときは、一旦給湯を止めてから設定してください。

×モ ●設定した給湯温度は、**運転スイッチ**を「切」にしても記憶していますが、給湯温度を60℃に設定した場合はやけど等の危険防止のため、再度**運転スイッチ**を「入」にしたとき自動的に55℃に設定されます。

■優先切替について

給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。また、優先を切り替えることを「優先切替」といいます。

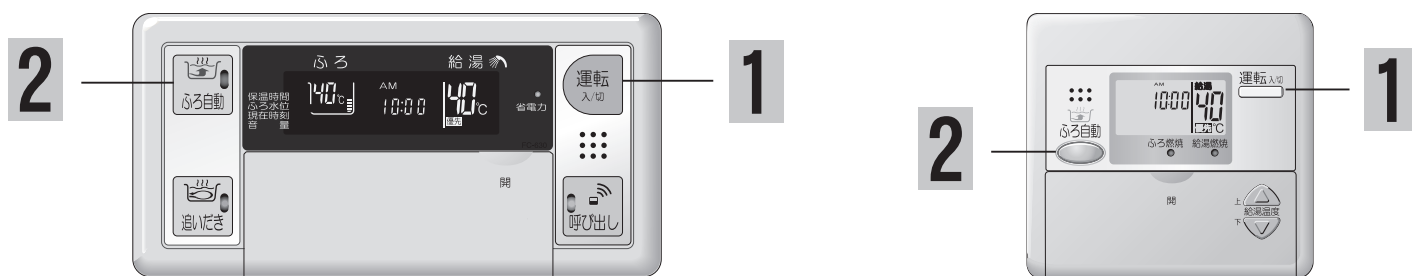


- ×モ**
- 給湯優先切り替え時には、55℃より高い設定温度にはなりません。優先を切り替えたとき、切り替え前の給湯温度が60℃だった場合、自動的に55℃に設定されます。
 - 浴室リモコン・台所リモコンの給湯優先切り替え時に、設定温度が50℃以上の場合には“熱い温度にセットされました 注意してください”とお知らせします。
 - 別売の増設リモコンを設置している場合
 - ・台所リモコンが優先のときは、増設リモコンにも優先があります。
 - ・増設リモコンと台所リモコンは連動しています。増設リモコンの**運転スイッチ**を「入」にすると、増設リモコンと台所リモコンに優先表示され、増設リモコンでも給湯温度を設定できます。

自動でおふろを沸かすには

スイッチを押すだけで簡単におふろが沸かせます。

※リモコンのイラストはふたを閉じた状態です。



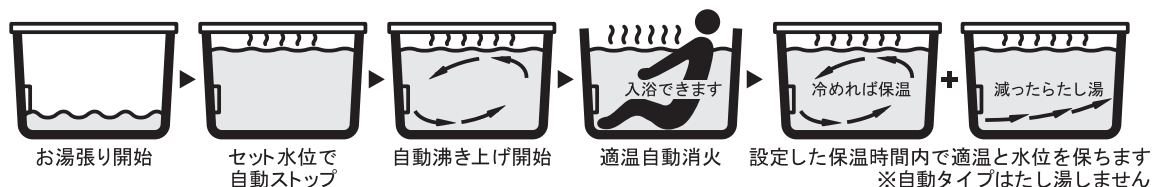
■ふろ自動運転をする

ここでは、浴室リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
準備 浴槽の排水栓をして、ふたをします		
1 運転スイッチ「入」を確認します		「入」になっていないときは、を押します。
2 を押します ふろ自動運転が始まり、お湯張りを開始します お湯張りが終わると沸かし上げます おふろが沸き上がると保温に入ります 保温時間内はふろ温度保つため、定期的に沸き上げます	 	🔊“お湯張りを始めます おふろの栓はしましたか” [赤]・ [赤]・ [赤]・給湯 燃焼表示が点灯します。 設定水位に近くなると 🔊“もうすぐおふろに入れます” ふろ 燃焼表示が点灯します。 設定された温度に沸き上がると 🔊“おふろが沸きました” ふろ 燃焼表示・ [赤]が [緑]に変わります。 ※全自動タイプの機器は、浴槽内のお湯が減ったらふろ水位までたし湯もします。 保温時間が終了すると [緑]が消灯します。
警告 ●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。		

●浴室リモコンの沸き上がりの音声ガイドは、リモコンの給湯温度が50℃以上の場合に、“おふろが沸きました”から“熱い温度にセットされました 注意してください”に変わります。

自動でお風呂を沸かすには



お風呂沸かしや保温を途中で停止したいときは

ふろ自動運転中にを押します。ふろ自動ランプが消灯して、お風呂沸かしが停止します。

⚠警告 ●お風呂の沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。

●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

⚠ご注意ください

●以下の場合には“もうすぐお風呂に入れます”の音声ガイドが流れません。

1. 予約運転でふろ自動運転を行ったとき。
2. 残り湯があってふろ自動運転を行った際、現在のふろ温度が設定温度に近いとき。(全自動タイプ)
残り湯があってふろ自動運転を行ったとき。(自動タイプ)

●自動でお風呂を沸かししているとき停電になるとふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。「沸かし直しをするには」(→下記参照)をご覧ください。再度お風呂を沸かし直してください。

お願い ●排水栓をし忘れると、アラーム番号“032”もしくは“252”が点灯し、ふろ自動運転を停止します。このような場合は、排水栓をしてリモコンの**運転**スイッチを「切」にし、3秒以上経過してから再度**運転**スイッチを「入」にしてふろ自動運転を行ってください。

- ×モ**
- ふろ自動運転のお湯張り中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共にリモコンの給湯燃焼表示(台所リモコンは給湯燃焼ランプ)がついたり消えたりすることは異常ではありません。
 - 残り湯がある場合は、すぐにお湯張りを始めません。これは残り湯の水位を機器が確認するためで、異常ではありません。
 - 保温時のお風呂沸かしの間隔は、気温等により約15～30分の間隔で行います。
 - お湯張りを正確に行うため、電源投入後2回目まではお湯張り時間がかかります。(全自動タイプのみ)

■沸かし直しをするには

ふろ自動運転をする(→P.15)の**1**から**2**と同じ操作で行います。

また、**追いだき運転をする**(→P.20)でも行うことができます。(たし湯は行いません)

全自動タイプ

- ・お風呂が沸くまでの状態は「ふろ自動運転」と同じですが、残り湯の水位によりふろ水位と異なる場合があります。

自動タイプ

- ・残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より低い場合は、設定量より残り湯の分だけ水位が増えますので、浴槽のあふれに注意してください。



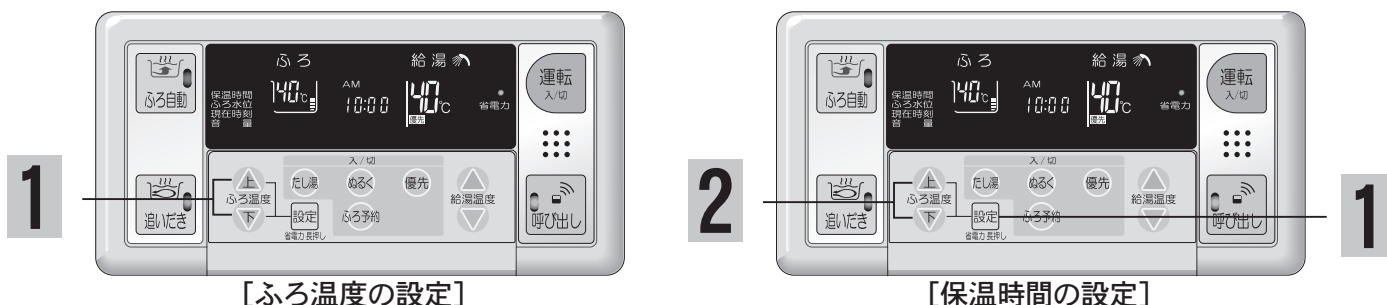
- ・残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より高い場合は、たし湯量がばらつくことがあります。特に残り湯が設定水位付近のときは**追いだき運転をする**(→P.20)と同じ操作で行ってください。残り湯が設定水位付近でふろ自動運転を行うとあふれるおそれがあります。また、追いだき・たし湯中は循環口から高温の湯が出ることがありますので、ご注意ください。



- ・残り湯と設定温度の差が少ない(約5℃未満)場合、お湯張りをしないときがあります。その場合は希望の水位まで給湯栓からお湯を入れるか、**たし湯**スイッチを押してたし湯してください。

ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには

※リモコンのイラストはふたを開けた状態です。



■ふろ温度の設定

浴室リモコンで操作します。

操 作		操作後の画面		説 明	
1	リモコンのふたを開け、 ▲または▼を押して、 ふろ温度を変更します				
ご使用の目安 (単位:°C)					
37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48					
ぬるい 標準 あつい					
40:工場出荷時					

■保温時間の設定

浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明													
1 リモコンのふたを開け、保温時間の右に◀が表示するまで設定を押します <table><tr><td colspan="2">保温時間</td><td colspan="2">(単位:時間)</td></tr><tr><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr></table> 4: 工場出荷時	保温時間		(単位:時間)		0	1	2	3	4	5	6	7	8		🔊“保温時間です 上下ボタンで入力してください” 保温時間が点滅します。 ※保温しない場合は、“0” に設定してください。
保温時間		(単位:時間)													
0	1	2	3	4	5	6	7	8							
2 上または下を押して、保温時間を変更します 保温時間変更後、しばらく押し操作がないと確定します	 	🔊“保温時間、セットされました”													

❗ご注意ください

- 夏期など水温が高い場合、ふろ温度を低い湯温に設定すると、お湯張り時に燃焼しない場合があります。

ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには

※リモコンのイラストはふたを開けた状態です。



■ふろ水位の設定

浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 リモコンのふたを開け、ふろ水位の右に◀が表示するまで 設定 を押します		▶“ふろ水位です 上下ボタンで入力してください” 水位バーが点滅します。 ※水位につきましては下記ふろ水位の目安をご参照ください。
2 上 または 下 を押して、ふろ水位を変更します ふろ水位変更後、しばらく押し操作がないと確定します		▶“ふろ水位、セットされました”

ふろ水位の目安 ☐：工場出荷時

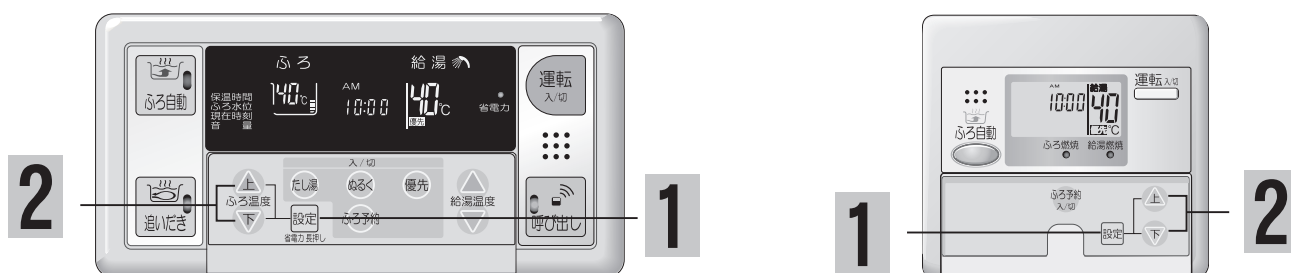
全自動タイプ		自動タイプ
和式バス用設定	洋式バス用設定	
お湯の高さ 60cm 57cm 54cm 51cm 48cm 45cm 42cm 39cm 36cm 33cm 30cm	お湯の高さ 48cm 45cm 42cm 40cm 38cm 36cm 34cm 32cm 30cm 28cm 26cm	お湯の量 500ℓ 400ℓ 300ℓ 260ℓ 240ℓ 220ℓ 200ℓ 180ℓ 160ℓ 140ℓ 50ℓ
水位バー表示	水位バー表示	浴槽のタイプ別湯量(目安) 1600タイプ 1400タイプ 1200タイプ 1100タイプ 800・900タイプ 洋風バス
※ふろ水位とは、浴槽底からのお湯の高さのことです。		※ふろ水位とは、浴槽に入れるのお湯の量のことです。

- お願い**
- 浴槽の種類や施工条件・外気温などによって、表示される温度や水位は実際と多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。また、水位を高め設定するとあふれる場合がありますので、最初は工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の水位を確認してからお好みの水位に調節することをおすすめします。なお、全自動タイプのふろ水位(cm)は、循環口の中心が浴槽下面から15cmにあることを前提に設定されています。
 - 通常、全自動タイプの出荷時のふろ水位は、和式バス用設定です。和式バス用設定と洋式バス用設定を変更したい場合は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
 - 設定した内容は次回変更するまで記憶されます。
 - ふろ自動運転中でもふろ温度・保温時間・ふろ水位の設定を変更することができます。
 - 設定時に**上**または**下**を押さないでしばらくたつと確定となりますが、音声ガイドは流れません。

音量を変更するには

浴室・台所・増設リモコンで、それぞれ個別に設定ができます。

※リモコンのイラストはふたを開けた状態です。



■音量の設定

ここでは台所リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明								
1 リモコンのふたを開け、音量の右に◀が表示するまで設定を押します <table><tr><td colspan="4">音量の目安</td></tr><tr><td>0 (無音)</td><td>1 (小)</td><td>2 (中)</td><td>3 (大)</td></tr></table> 3 (大): 工場出荷時	音量の目安				0 (無音)	1 (小)	2 (中)	3 (大)		🔊“音量です 上下ボタンで入力してください” 音量が点滅します。 サンプル音が流れますので、好みの音量に設定してください。
音量の目安										
0 (無音)	1 (小)	2 (中)	3 (大)							
2 ▲または▼を押して、音量を変更します 変更後設定を押す、またはしばらくたつと確定となります	 	🔊“音量、セットされました” 現在時刻表示に戻ります。								



- 設定した内容は次回変更するまで記憶されます。
- 音量を無音に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、浴室リモコンの**呼び出し**(インターホン付は**通話**)スイッチが押されたときのチャイムや音声は音量“小”で台所・増設リモコンより流れます。
- スイッチやボタン操作時の音、警告音“ピッピッピッ”の音は調整できません。
- 設定時に▲または▼を押さないでしばらくたつと確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- 設定**ボタンを順に押して各設定を続けて変更することもできます。設定が終了すると音声ガイドが変更設定した項目についてお知らせします。

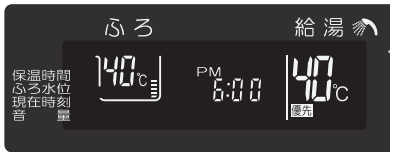
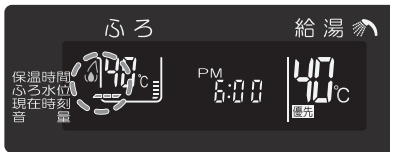
浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだき」といいます。

※リモコンのイラストはふたを閉じた状態です。



■追いだき運転をする

浴室リモコンまたは台所リモコンで操作できます。
ここでは浴室リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 運転スイッチ「入」を確認します		「入」になっていないときは、を押します。
2 を押します	 	 [橙] が点灯します。 しばらくすると  ・  ・  ふうろ 燃焼表示  が点灯し、追いだき運 転を開始します。 運転が終了すると、 [橙] が消 え、ふうろ燃焼表示  ・  ・  も消えます。

 **警告**

●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

使い方

もっと熱くしたいときには

追いだき運転終了後にもう一度、を押します。
お好みの湯かげんになったら、を押して停止して
ください。

追いだき運転を途中で停止するには

追いだき運転中に  を押します。
追いだきランプ・ふろ燃焼表示  ・  ・  が消
灯して、追いだき運転を停止します。

▲注意 ●追いだきの操作をするときには、浴槽の循環口より上に湯(水)があることを確認する。

お願い ●**追いだき**スイッチは長く(5秒以上)押さないでください。入浴中に**追いだき**スイッチを5秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。誤って押し続けた場合はもう一度**追いだき**スイッチを押してください。

 ●追いだきで停止の操作をしない場合は、現在の浴槽の湯温+2℃まで沸き上げて自動的に停止します。ただし、沸き上げた温度が設定したふろ温度に達しない場合は、設定したふろ温度まで沸き上げて自動的に停止します。

●ふろ自動運転中のお湯張り中は、**追いだき**スイッチを使用できません。押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。

お風呂のお湯をぬるくするには

浴槽のお湯が熱いときは、ぬるくすることができます。この機能を「ぬるく」といいます。

※リモコンのイラストはふたを開けた状態です。



■ぬるく運転をする

自動的に水(約12ℓ)を入れかかはんします。浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 運転スイッチ「入」を確認します		「入」になっていないときは、を押します。
2 を押します	 	とが点灯し、ぬるく運転を開始します。 約12ℓの水を入れて、かかはんしてから自動停止します。 運転が終了すると、が消え、も消えます。

もっとぬるくしたいときには

ぬるく運転終了後にもう一度、を押します。お好みの湯かげんになったら、を押して停止してください。

ぬるく運転を途中で停止するには

ぬるく運転中にを押します。・が消灯してぬるく運転を停止します。

! ご注意ください

- ぬるく運転中に給湯・シャワーを使用すると、ぬるく運転は一時中断します。給湯・シャワーを終了すると、ぬるく運転を再開します。

お願い ●ぬるくボタンを5秒以上押し続けると、ポンプ運転を始めます。(→P.26)
誤って押し続けた場合はもう一度ぬるくボタンを押してください。

- ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯かげんを確かめてください。
- ふろ自動運転の燃焼中やお湯の使用中は、ぬるくボタンは使用できません。押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。給湯燃焼表示が消えてからぬるくボタンを押してください。

お風呂のお湯を増やしたいときには

浴槽のお湯の量を増やすことができます。
この機能を「たし湯」といいます。

※リモコンのイラストはふたを開けた状態です。



■たし湯運転をする

自動的に「ふろ温度」設定のお湯を約24ℓ入れかかはんします。
浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 運転スイッチ「入」を確認します		「入」になっていないときは、を押します。
2 を押します	 	「たし湯」とが点灯します。 しばらくすると給湯燃焼表示が点灯し、たし湯運転を開始します。 約24ℓのお湯を入れて、かかはんしてから自動停止します。 運転が終了すると、給湯燃焼表示が消え、「たし湯」・も消えます。

もっとお湯を増やしたいときには

たし湯運転終了後にもう一度、を押します。
お好みの湯量になったら、「たし湯」を押して停止してください。

たし湯運転を途中で停止するには

たし湯運転中にを押します。
給湯燃焼表示・お湯はり中表示・「たし湯」が消灯して、たし湯運転を停止します。

! ご注意ください

●たし湯運転中に給湯・シャワーを使用するとふろ温度で出湯されます。このとき給湯温度の表示は変わりません。ふろ温度が高いときに、給湯・シャワー等を使うときはご注意ください。



●優先の給湯温度を50℃以上に設定してある場合は、たし湯運転終了後チャイムが鳴り“**熱い温度にセットされました 注意してください**”と音声ガイドが流れます。

お風呂が沸く時刻を予約するには

お風呂の沸き上がり時刻を予約することができます。

予約の設定は予約時刻の60分前までに設定してください。
予約運転を行うときは、毎回以下のことを確認してください。

- 浴槽の排水栓および、ふたがしてあることを確認。
- 現在時刻が合っているかを確認。(→P.12)
- 予約時刻を確認。(→P.24)
- ふろ温度・保温時間・ふろ水位の設定を確認。(→P.17～18)

予約の設定は予約運転ごとに毎回行ってください



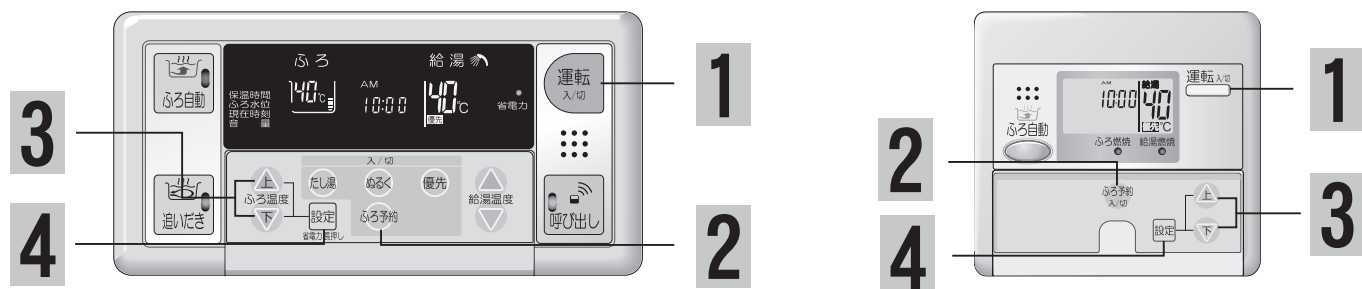
■予約運転をする

浴室リモコンと台所リモコンで操作できますが、ここでは浴室リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
準備 浴槽の排水栓をして、ふたをします		
1 運転スイッチ「入」を確認します		「入」になっていないときは、を押します。
2 を押します		“予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください” 予約が点灯します。 予約時刻表示が点滅します。
3 予約時刻を設定します または を押して、予約時刻を変更します		予約時刻の変更をしない場合は または を押さずにしばらくたつと、予約の確定となります。
4 を押す、もしくはしばらくたつと確定となります		“予約されました お風呂の栓はしましたか” 予約時刻の点滅から現在時刻の点灯に戻ります。

おふろが沸く時刻を予約するには

※リモコンのイラストはふたを開けた状態です。



操 作	操作後の画面	説 明
5 予約した時刻におふろが沸き上がるように、ふろ自動運転が始まります おふろが沸き上がると保温に入ります	 	予約ランプが消灯します。 [赤]・・・給湯燃焼表示が点灯します。 おふろが沸き上がると “おふろが沸きました” ふろ燃焼表示・・が消灯し、 [赤]が [緑]に変わります。

予約運転を解除したいときは

※リモコンの運転スイッチの「入」「切」に関係なく操作ができます。

リモコンに予約が表示されている場合→を押します。

“予約、解除されました”

予約が消えて予約が解除されます。

おふろ沸かしが始まっている場合→を押します。

ふろ自動ランプが消えて運転が停止します。



- 出荷時の予約時刻はPM6:00になっています。
- 予約運転の沸き上がり完了時刻は、予約運転中のお湯の使用や残り湯があるとき、また気温によって遅くなる場合があります。
- リモコンに予約が表示されたあとは、**運転**スイッチを「切」にしても予約運転は行われます。また、予約後は**運転**スイッチ「入」「切」に関係なく、**ふろ予約**ボタンを押すと予約は解除されますのでご注意ください。
- 予約時刻は記憶されますので毎回設定する必要はありません。ただし、停電や電源プラグを抜いた場合など通電が止まり、再通電した後は現在時刻を合わせた(→P.12)後、再度ふろ予約を行ってください。

省電力機能について

5分以上何も操作しないときに、リモコンの画面表示を消して電力の節約をします。

※リモコンのイラストはふたを開けた状態です。



■省電力モードの解除

浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 運転スイッチ「入」を確認します 省電力ランプが点灯していることを確認します		点灯していないときは、を押します。
2 浴室リモコンのを5秒以上押し続けます		“省電力、解除されました” 浴室リモコンでは省電力ランプが消えます。 台所・増設リモコンではが消えます。

■省電力モードの設定

浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 運転スイッチ「入」を確認します 省電力ランプが消灯していることを確認します		点灯していないときは、を押します。
2 浴室リモコンのを5秒以上押し続けます		“省電力、セットされました” 浴室リモコンでは省電力ランプが点灯します。 台所・増設リモコンではを表示します。

省電力モード中に画面を表示させるには各スイッチおよびボタンを押すと画面を表示します。



！ご注意ください

左図のスイッチは、押すと画面が表示されると同時に、運転が開始します。

リモコン操作をしなくてもこんな場合は表示します

- ・お湯を使用しているとき
- ・給湯温度が50℃以上に設定されているとき
- ・ふろ自動運転中(保温を含む)

お願い

●省電力モード中で画面が消えている(台所・増設リモコンでは液晶画面のライトが消えている)ときに給湯・シャワーを使用するときは、画面を表示させて給湯温度を確認してからご使用ください。

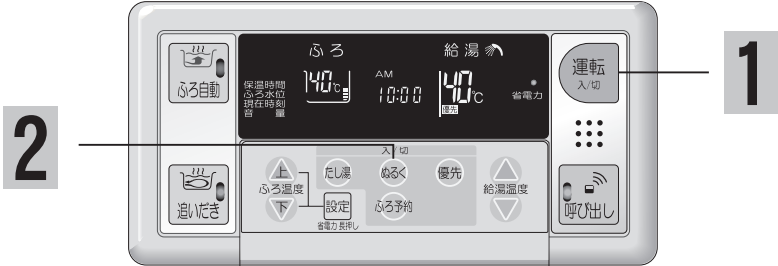
●ふろ自動・追いだき・呼び出しスイッチ以外のスイッチおよびボタンは、画面が消えている(台所・増設リモコンでは液晶画面のライトが消えている)状態では受け付けません。『2度押し』してください。



●省電力モードは運転スイッチの「入」/「切」では解除できません。

知っていると便利な機能

※リモコンのイラストはふたを開けた状態です。



利用できます	利用できません
 水道ホース差込型 (TP-S52タイプ)	 (TP-S200タイプ)
 水道ホース差込型 (TP-S150タイプ)	

■ポンプ運転をする

浴槽の残り湯を、洗濯機などに注水することができる機能です。
水道ホース差込型 (TP-S52, TP-S150タイプ) の循環口が取り付けられている浴槽でのみ、利用できます。浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
準備 循環口のホース差込み口にビニールホース(内径15mm)を差し込みます		※ホースは5mまでとしてください。
1 運転スイッチ「入」を確認します		点灯していないときは、を押します。
2 を5秒以上長押しします ポンプ運転を開始します	 	ポンプを表示します。 浴槽のお湯が循環口付近となるか、一定時間(約15分)が経過すると自動停止します。 終了するとポンプが消えます。

ポンプ運転を途中で停止するには

を押します。**ポンプ**が消え、ポンプ運転(注水)が停止します。

お願い ●水道ホース差込型 (TP-S52, TP-S150タイプ) を取り付けられている場合でも、条件によっては利用できない場合があります。

使い方

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。



注意

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき(外気温-15℃、有風5m/秒程度まで)

機器の電源プラグは、抜かないでください

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと浴槽の水(湯)を循環(ポンプ運転)して、ふろ配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。電源プラグを抜いたり分電盤のブレーカーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。



- 凍結予防装置は、**運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
- 配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

浴槽の水(湯)は循環口上部より5cm以上高い位置にする

- 浴槽の水(湯)を循環し、凍結予防をするため浴槽の残り湯は捨てずそのままにしておいてください。

お願い

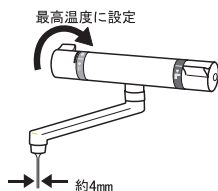
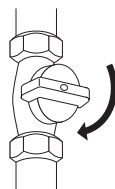
- お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、**運転**スイッチを「入」にしてください。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、**給湯栓の水を流す方法**または、**機器の水を抜く方法**で凍結予防をしてください。

■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

操 作		説 明
1	 を押してリモコンを「切」にします	必ず行います。
2	ガス栓を閉じます	
3	浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます	流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。

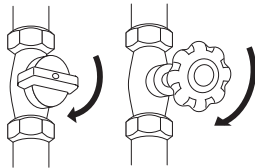
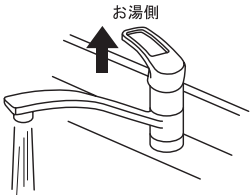
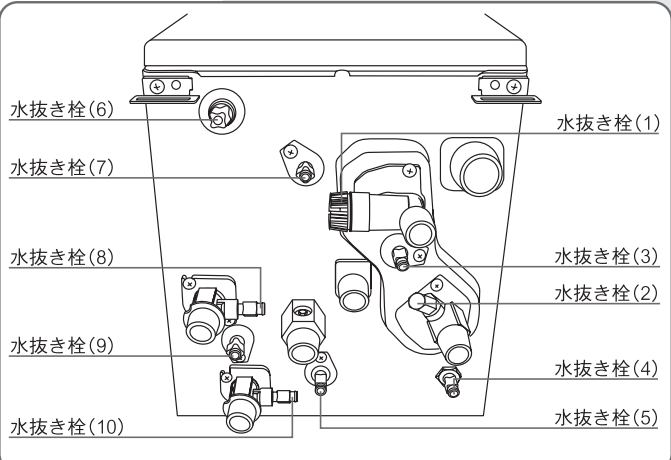
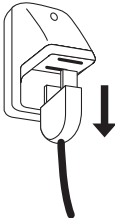


- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、**運転**スイッチを切った状態で給湯栓を開けて水を出さないようお願いしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.5)
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

冬期の凍結予防をするには

■機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

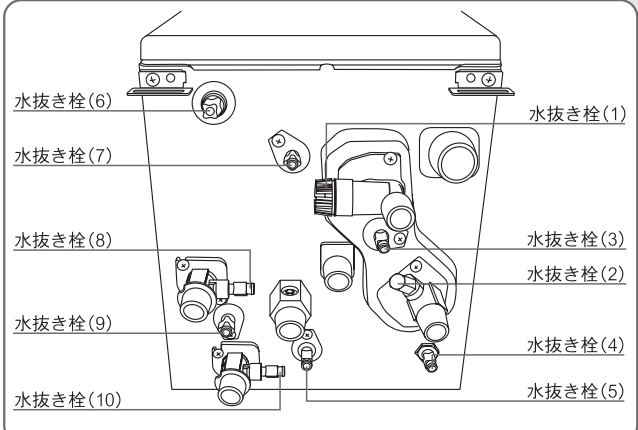
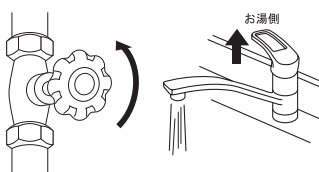
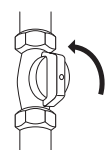
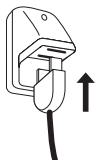
操 作	説 明
1 ガス栓と給水元栓を閉じます 	機器の下部にあります。
2 浴槽の水を完全に排水します 運転スイッチ「入」を確認し、  を5秒間押し続けます 	※浴槽の水が排水されていないと浴室リモコンに「032」が点滅します。再度、浴槽の水が排水されているか確認してください。
3 すべての給湯栓を全開にします 	
4 水抜き栓(1)(2)を外します 水抜き栓(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)を水が出るまでゆるめます	
5 必ず電源プラグを抜きます 水抜き栓からの排水を確認し、 すべての水抜き栓を元どおりに取り付けてください 	

- ⚠️ 注意** ● 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
 機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
- 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P.32）
- お願い** ● 水抜きをするとき、床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 水抜きをした後は、浴槽へ水を流しこまないでください。

冬期の凍結予防をするには

■再使用するとき

水抜き後、再度使用するときは次の操作をしてください。

操 作	説 明
1 水抜き栓(1)～(10)およびすべての給湯栓が閉じていることを確認します	
2 給水元栓を開け、機器や配管より水漏れがないか確認します また、すべての給湯栓を開けて水が出ることも確認します	 給水元栓は機器の下部にあります。 水が出ることを確認したら、給湯栓を閉じます。
3 ガス栓を開けます	 ガス栓は機器の下部にあります。 電源プラグは機器の周辺にあります。
4 電源プラグを差し込みます	
5 リモコンの現在時刻を設定します(→P.12)	
6  を押し、ふろ自動運転を行います 浴槽に湯を張り水位などを確認します(再度水漏れがないか確認してください)	 ※循環口からお湯が出ることを確認してください。しばらく(1分程度)してもお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。 追いだき配管が凍結している場合、ドレン排出配管よりお湯が出ます。

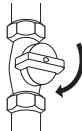
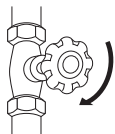
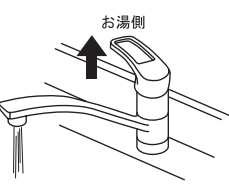
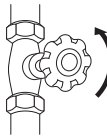
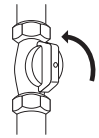
⚠注意 ●配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.32)

🙏お願い ●再使用するときは、水抜き栓を元どおりに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

冬期の凍結予防をするには

■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待ち、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

操 作	説 明
1 ガス栓を閉じます 	機器の下部にあります。
2 給水元栓を閉じます 	機器の下部にあります。 ※配管が破損していた場合の水漏れを防止する目的です。
3  を押してリモコンを「切」にします 	
4 ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します 水が出てくれば使用できます 	給水元栓は、機器の下部にあります。
5 給水元栓を全開にし、ガス栓を開けます  	機器の下部にあります。 必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。
6  を押し、リモコンを「入」にします ふろ自動運転を行い、機器の水漏れや追いだき配管が凍結していないか確認します 	※循環口からお湯が出ることを確認してください。しばらく(1分程度)してもお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。 追いだき配管が凍結している場合、ドレン排出配管よりお湯が出ます。

⚠注意 ●配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.32)

お願い ●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認ください。

長くお使いいただくために

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント(月1回程度)

次の7つのポイントで点検してください。

1 機器および配管から水漏れはありませんか？

水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。

2 機器および配管からガスの臭いがしませんか？

3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？

4 機器の外観に異常は見られませんか？

5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか？

また、整然とされていますか？

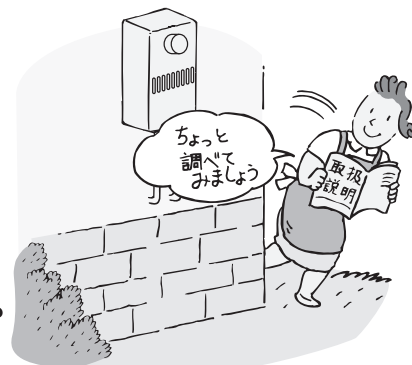
機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。

6 浴槽に循環口フィルターがついていますか？

7 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口がふさがれていませんか？

給気口・排気口がふさがれていると、機器が不完全燃焼することがあります。

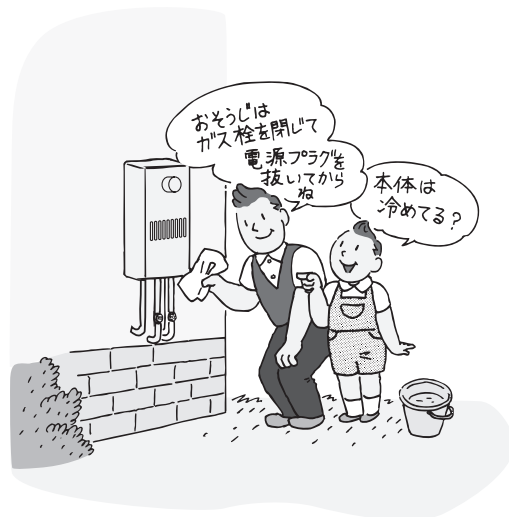
積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口をふさぐおそれがあるときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。



■お手入れのしかた(月1回程度)

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ(有料)

- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。
なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、4～6年に1回程度の点検をおすすめします。
点検はお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

⚠警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



⚠ ●ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

お願い ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
●水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

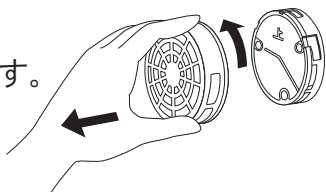
点検のポイント・お手入れのしかた

■循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまります。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追いだきができなくなります。

循環口フィルターの外し方

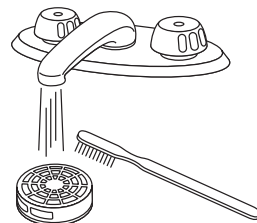
循環口フィルターを左に回して手前に引きます。



循環口フィルターを掃除する

歯ブラシなどで洗います。

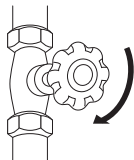
掃除後、循環口フィルターを元のように取り付けます。



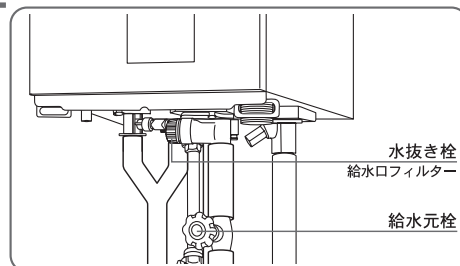
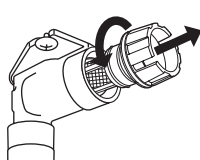
■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築の場合)

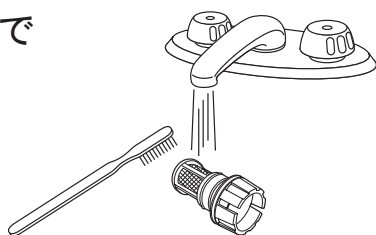
1 給水元栓を閉じる



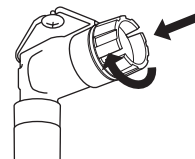
2 水抜き栓を外す



3 歯ブラシなどで洗う



4 元のように取り付ける



■点検・お手入れ後の確認

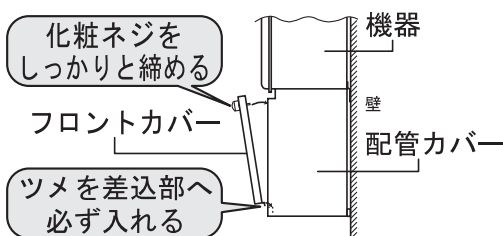
点検・お手入れ後はガス栓を開いて、**運転スイッチ**を「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

(配管カバー(または据置台)のフロントカバーについて)

配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元のとおり取り付けてください。

①カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。

②化粧ネジを確実に締める。



お願い

- 循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。循環口フィルターを付けずに運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 再使用するときは、水抜き栓を元どおりに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
- 別売のユニットを取付けている場合、ユニットに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。まずは次の点を確認してください。

こんなとき

ここを調べてください

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

リモコンの画面に
表示が出ない

省電力モード中ではありませんか (→P.25)
電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.11)
停電していませんか (→P.6)

アラーム番号「032」「252」「562」
が点滅し、動作しない

給水元栓が全開になっていますか (→P.11)
断水していませんか
おふろの排水栓はしっかりはまっていますか (→P.15)
循環口フィルターが詰まっていますか (→P.32)

給湯燃烧表示[💧]が表示しない
(台所リモコンは、給湯燃烧ランプが
点灯しない)
お湯が出ない

ガス栓が全開になっていますか (→P.11)
給水元栓が全開になっていますか (→P.11)
断水していませんか
給湯栓が十分開いていますか (→P.13)
給水口フィルターが詰まっていますか (→P.32)

高温のお湯が出ない
低温のお湯が出ない

給湯栓が十分開いていますか (→P.13)
温度調節は適切ですか (→P.13)
混合水栓やサーモミキシングバルブを使用し、高温
のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃
にセットしてください

ふろ燃烧表示[💧]が表示しない
(台所リモコンは、ふろ燃烧ランプが
点灯しない)

ガス栓が全開になっていますか (→P.11)
浴槽に水が入っていますか
循環口フィルターが詰まっていますか (→P.32)

おふろ使用中に消火した

ガス栓が全開になっていますか (→P.11)

浴槽の水があつい(ぬるい)

ふろ温度のセットは適切ですか (→P.17)
循環口フィルターが詰まっていますか (→P.32)

浴槽の水が少ない(多い)

ふろ水位のセットは適切ですか (→P.18)
循環口フィルターが詰まっていますか (→P.32)

洗濯機に入る残り湯が極端に
少ない

洗濯機の入水口フィルターの掃除を行ってください
循環口フィルターが詰まっていますか (→P.32)

故障かな？と思ったら

■こんなときは故障ではありません

現象	点検項目
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が約2.5ℓ /分以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開けて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
給湯使用中にお湯の量が変わる	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、「ふろ自動」「たし湯」運転をすると、お湯の量が減る場合があります。
給湯栓を開けたときお湯の量が変わる	湯温を安定させるために自動的に湯量調整しています。すぐに湯量は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
浴槽、洗面台が青く見える	湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間、コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。
給湯運転中にポンプが回る	給湯回路内の空気を抜くために、1日1回給湯使用中にポンプが回ります。
出湯停止後しばらく燃焼ファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
ふろ自動スイッチを押した後お湯入れがときどき停止する	浴槽の中に正確にお湯入れをするための動作です。
おふろを使用していないのに浴槽の循環口よりお湯(水)が出る	浴槽のお湯を排水したあと、ふろ配管内の残り湯を流し出す機能がはたらくと、循環口からお湯(水)が出ます。(全自動タイプのみ)
	お湯を使用すると機器内が温まり、配管に残っている水が循環口から出る場合があります。
	凍結予防のためにポンプが回ったとき、配管に残っている水が循環口から出る場合があります。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するためおよそ15～30分間隔で回ります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「ぬるく」・「ふろ自動」・「追いだき」・「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。
冬期など寒いとき追いだきのポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行います。
寒い日排気口から白い湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。この機器は、熱効率が高いため、白い湯気が出やすくなっています。
時計表示が合っていない	停電や電源プラグをコンセントから抜いた後の再通電時は、時刻表示がAM1:00の初期状態に戻りますので、時刻の再設定をしてください。(→P.12)

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは
お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

長くお使いいただくために

故障かな？と思ったら

■アラーム表示について

機器に不具合が生じたとき、その原因に応じてアラーム番号が点滅表示し、自動的に運転を停止します。アラーム番号が点滅表示したときは、不具合の内容と表示されているアラーム番号をお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

アラーム番号	内 容	処 置 方 法	使 用 状 態	アラーム番号	内 容	処 置 方 法	使 用 状 態
011	給湯60分以上連続使用	給湯栓を閉じてリセット	給湯	500	逆 止 弁 異 常	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
030	未 対 応 ガ ス 種 選 択	修理を依頼する	—	510	元 ガ ス 電 磁 弁 異 常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
032	注 湯 時 間 異 常	浴槽の排水栓を確認後リセット	ふろ自動・追いだし	511	給 湯 ガ ス 電 磁 弁 異 常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
032	凍 結 予 防 水 抜 き 異 常	浴槽の排水を確認後リセット	凍結予防水抜き時	542	切 替 弁 異 常		ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだし
101	給 湯 自 己 診 断 警 告	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし	562	注 湯 電 磁 弁 異 常		給湯・ふろ自動・たし湯
111	給 湯 点 火 不 良		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし	610	フ ァ ン 回 転 故 障		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
121	給 湯 失 火	ガス栓確認後リセット	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし	632	給 湯 循 環 ポ ンプ 異 常		ふろ自動・追いだし
140	空 だ き 安 全 装 置 作 動	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし	661	バ イ パ ス 水 制 御 弁 異 常		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯
170	元 ガ ス 電 磁 弁 回 路 異 常		給湯	700	電 装 基 板 異 常		—
252	熱 交 換 器 異 常	浴槽の排水栓を確認後リセット	給湯	710	ガ ス 比 例 弁 駆 動 回 路 異 常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
291	ふ ろ 水 流 ス イ ッ チ 異 常		ふろ自動・追いだし	711	給 湯 ガ ス 電 磁 弁 回 路 不 良		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
291	中 和 器 詰 ま り	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし	721	給 湯 プ リ ・ ポ ス ト 異 常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
300	外気温サーミスタ断線・短絡		—	740	台 所 リ モ コ ン 通 信 異 常		—
311	出 湯 温 サ ー ミ ス タ 断 線		—	750	浴 室 ・ 増 設 リ モ コ ン 通 信 異 常		—
312	ふ ろ 入 サ ー ミ ス タ 断 線		—	760	電 力 測 定 ユ ニ ッ ト 通 信 異 常		—
321	入 水 温 サ ー ミ ス タ 断 線 ・ 短 絡		—	901	給 湯 給 気 汚 染 異 常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
322	給 水 温 サ ー ミ ス タ 断 線 ・ 短 絡		—	921	中 和 器 異 常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
331	混 合 温 サ ー ミ ス タ 断 線 ・ 短 絡		—	931	中 和 器 寿 命		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
391	給湯自己診断フューズ断線・短絡		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし	991	給 湯 自 己 診 断 燃 焼 異 常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
422	注 湯 量 セ ン サ 異 常		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯				
432	水 位 セ ン サ 異 常		ふろ自動				

リセット操作 運転スイッチを一度「切」にし、3秒以上経過してから、運転スイッチを「入」にする。

【浴室リモコン】

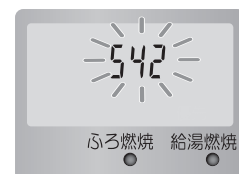
番号によっては、給湯やふろ温度表示部に補足の番号が出ることがあります。

ご連絡の際は、アラーム番号と併せてお知らせください。



【台所リモコン】

簡易表示のため、アラーム番号のみを点滅表示します。



！ご注意ください

- アラーム番号“921”“931”が表示されたときは、中和器の交換が必要なため、修理を依頼してください。アラーム番号“921”では機器はしばらく使用できますが、リモコンのアラームは点滅したままです。点滅中はリモコンに、温度の表示がされませんので、湯温を確かめてから使用してください。アラーム番号“931”では機器の使用はできません。



- アラーム番号“101”が表示されたときは、燃焼状態を自己診断し、良好な燃焼を維持できない場合にお知らせする警告表示です。“101”の警告表示が点滅しているときの使用はできませんが、機器の燃焼が悪化している状態で使用し続けると最終的に安全装置がはたらいって“991”のアラームとなり機器の使用ができなくなりますので、アラーム番号“101”が点滅したときは、修理を依頼してください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.33～35)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、お客様ご自身で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 品名(例)GX-S2000ZWS-1
ガスの種類(例)13A
 - (3) 現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または弊社窓口へお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(→P.28)
 - (4) 電源プラグを抜きます。

仕様一覧

〔仕様表〕

項 目		内 容		
品 名		GX-S2000ZWS-1	GX-S2000AWS-1	
型 式 名		GX-S2000ZWS	GX-S2000AWS	
外形寸法(mm)/質量(kg)		幅250×奥行300×高さ750/30		
種類	給湯方式	先止め式		
	設置方式	PS扉内設置形前方排気延長		
点火方式		AC100V連続放電式(ダイレクト着火)		
水圧	使用水圧	100 ～ 800kPa(1.0 ～ 8.0kgf/cm ²)		
	最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)		
接続	ガス	15A(R1/2)オネジ		
	給水・給湯	15A(R1/2)オネジ		
	追いだき往・戻	15A(G1/2)オネジ		
	ドレン接続口	15A(R1/2)オネジ		
	オーバーフロー口	15A(R1/2)オネジ		
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)		
	リモコン側	24V以下		
	消費電力	待機時	3.8W(浴室・台所リモコン取付時)	
		同時使用	170W/190W	
		凍結予防	電気ヒータ 給湯側158W 追いだき側12W 同時236W/256W ポンプ運転85/110W	
	電源コード/リモコンコード		VCT(2心)機外長2.0m/FMY02-〇〇(2心)	
安全装置		ファン回転検出装置(燃焼ファン) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 立消え安全装置(フレイムロッド) 漏電安全装置(漏電スイッチ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 空だき安全装置(バイメタル式) 凍結予防装置(凍結予防ヒータ、ポンプ運転) 空だき防止装置(水量センサ・水流スイッチ・水位電極) 過電流安全装置(電流ヒューズ)		

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h}			出湯能力(最大)ℓ/分		ガス 接続
		給湯・ふろ同時使用	給湯(最大)	ふろ	水温+ 25℃上昇	水温+ 40℃上昇	
都市ガス	13A	44.2{38,000}	36.7{31,600}	11.6{10,000}	20.0	12.5	15A (R1/2)
	12A	41.2{35,400}	34.2{29,400}	10.8{9,300}	18.7	11.7	
LPガス		44.2{3.16kg/h}	36.7{2.62kg/h}	11.6{0.83kg/h}	20.0	12.5	

◎ガス: JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa{2kgf/cm²}のときで、温度を高め設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

仕様一覧

〔仕様表〕

項	目	内容	
品	名	GX-S1600ZWS-1	GX-S1600AWS-1
型	式	GX-S1600ZWS	GX-S1600AWS
外形寸法(mm)/質量(kg)		幅250×奥行300×高さ750/30	
種類	給湯方式	先止め式	
	設置方式	PS扉内設置形前方排気延長	
点火方式		AC100V連続放電式(ダイレクト着火)	
水圧	使用水圧	100～800kPa(1.0～8.0kgf/cm ²)	
	最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)	
接続	ガス	15A(R1/2)オネジ	
	給水・給湯	15A(R1/2)オネジ	
	追いだき往・戻	15A(G1/2)オネジ	
	ドレン接続口	15A(R1/2)オネジ	
	オーバーフロー口	15A(R1/2)オネジ	
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)	
	リモコン側	24V以下	
	消費電力	待機時	3.8W(浴室・台所リモコン取付時)
		同時使用	170W/190W
		凍結予防	電気ヒータ 給湯側158W 追いだき側12W 同時236W/256W ポンプ運転85/110W
	電源コード/リモコンコード		
安全装置		ファン回転検出装置(燃焼ファン) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 立消え安全装置(フレイムロッド) 漏電安全装置(漏電スイッチ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 誘導電保護装置(サージアブソーバ) 空だき安全装置(バイメタル式) 凍結予防装置(凍結予防ヒータ、ポンプ運転) 空だき防止装置(水量センサ・水流スイッチ・水位電極) 過電流安全装置(電流ヒューズ)	

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h}			出湯能力(最大)ℓ/分		ガス 接続
		給湯・ふろ同時使用	給湯(最大)	ふろ	水温+ 25℃上昇	水温+ 40℃上昇	
都市ガス	13A	41.3{35,500}	29.7{25,500}	11.6{10,000}	16.0	10.0	15A (R1/2)
	12A	38.5{33,000}	27.7{23,700}	10.8{9,300}	14.9	9.3	
LPガス		41.3{2.95kg/h}	29.7{2.12kg/h}	11.6{0.83kg/h}	16.0	10.0	

◎ガス:JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa(2kgf/cm²)のときで、温度を高め設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために

ガスふろ給湯器 パーパス 商品保証書

品名 GX-S2000ZWS-1 GX-S2000AWS-1 GX-S1600ZWS-1 GX-S1600AWS-1

お買い上げ日		年 月 日		保証期間 おおよそ 保証対象区分	BL認定品	熱交換器	3ヶ年
お客様	ご住所					それ以外の部分	2ヶ年
	ご芳名	TEL		様			
販売店	住所名	TEL		(印)			

お客様へ

●この保証書をお受取りになるときに販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

●本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

- (1)保証期間は上記品名の機器をお買い上げの日から表記の期間とし機器本体を対象とします。
- (2)万一故障の場合はお買い上げの販売店または、弊社修理受付センターへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
- (3)サービス員が参上したときに本証書をお示しください。紛失されますと有料修理となる場合があります。
- (4)保証期間中でありましても次の場合には有料修理となります。
- (イ) 当製品の取扱説明書、又は貼付ラベル等のご案内によらないでご使用になり故障した場合。
- (ロ) 当製品の工事説明書によらないで施工されたり、専門業者以外による修理、移動、改造等を行ったことにより故障した場合。
- (ハ) 設置環境の経年変化に伴う故障、及び塗装の色褪せ・摩擦等により生ずる機能に影響ない変化。
- (ニ) 海岸付近・温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する機能に影響ない変化。
- (ホ) ねずみ・くも等の生物活動に起因する故障。
- (ヘ) 住宅用途以外(例えば業務用・船舶・車両上でのご使用)にてご使用された場合の故障。
- (ト) 火災・地震・洪水・落雷等の天変地異、凍結又は暴動等の破壊行為による故障。
- (チ) ガス・電気・給水の供給トラブルによる故障。
- (リ) 熱量変更、又は移動等に伴う調整、確認作業。
- (ヌ) 給水・給湯配管の錆び等異物混入による故障。
- (ル) 温泉水・井戸水などであって、水道法に定められた飲料水の基準に適合しない水をご使用になったことによる故障。

(5)本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

(6)この保証書によって保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(7)商品や修理以外のお問い合わせ等はお買い上げの販売店または、弊社お客様相談室へお問い合わせください。

高木産業株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

弊社窓口

修理受付センター(修理受付のみ)

TEL 0120-260-884(通話料金無料)

携帯電話からは 03-5682-4545 へおかけください。

受付時間：年中無休 24時間修理受付

お客様相談室(商品や修理以外のお問い合わせ等)

TEL 0545-32-1389

受付時間 平日 9:00 ~ 19:00
土曜日・日曜日・祝日 9:00 ~ 17:00

ご連絡いただいた個人情報は、弊社規定によりお問い合わせ対応に必要な範囲内で使用します。お問い合わせ内容につきましては、個人を特定できないデータに加工した後、サービス向上等のために利用いたします。